



## 校長室 だより

平成29年3月21日

尼崎市立常陽中学校

校長 小谷 豪郎 No.15

# 平成28年度10大ニュース

### ①尼崎市市制100周年

前年度から、100周年を祝う横断幕の作成に取り組んだりしてみんなの意識の中にも「市制100周年」は定着していたのではないですか、本校卒業生の「あまゆーず」による「あまがすき」というテーマ曲も作成されました。皆さん聞いたことありますよね・・・？

### ②熊本地震の影響で修学旅行延期

4月14日に熊本県を中心に起きた「熊本地震」の影響で安全確認等の時間と、余震などの影響を考え9月に延期して行き先は変更せず少しでも復興の役になりたいと、大分県豊後高田市へ行き、民泊体験を実施しました。

現地の方々からは、大歓迎を受け充実した2泊3日となりました。

### ③アクティブラーニングの取り組み

教師から一方的に「教える」授業ではなく生徒が、みずから「学ぶ」授業へ変革し『主体的、対話的で深い学び』の実現を目指す取り組みです。各授業でグループ討議や教え合いなどの場面が増え、生徒の新しい一面が見られます。

### ④男子バスケットボール部中学校総体で市内・阪神2連覇達成

先輩たちの頑張りをしっかりと受け止めて、新人戦では市内ベスト4、阪神ベスト8と早々に負けてしまいましたが、最後の夏の大会は、市内大会も阪神大会も優勝、2連覇達成という偉業を成し遂げました。

### ⑤全国少年消防クラブ交流会へ尼崎市代表として参加

尼崎市消防本部から推薦をいただき、8月3日～5日まで東日本大震災で大きな被害を受けた南三陸町へ、3年生3名2年生2名が参加し貴重な体験をして帰ってきました。文化発表会では舞台発表でその報告をしてくれました。

### ⑥尼崎市中学校総合体育大会、男女1000/1500m連覇

前年度、兵庫県教育委員会から「体力アップスクール」の表彰を受けた本校は、体育の授業で毎回長距離走に力を入れ体力向上に取り組んできました。その成果が見事市内中学校総合体育大会の結果に結びつきました。

### ⑦2年連続、兵庫県中学校総合体育大会駅伝競走大会に出場

昨年、尼崎市から3年ぶりに兵庫県の駅伝競走大会に出場した本校陸上競技部が、昨年に引き続き2年連続出場を果たしました。これは尼崎市の中学校にとって21年ぶりの快挙だということです。

先輩たちからの襷をつなぎ、3年連続出場を目指して頑張ってください。

### ⑧中学校弁当、当日試験販売実施

11月28日～12月2日の1週間で弁当の当日試験販売を実施したところ、予定数20食をはるかに超える日が続き最終日に至っては、50食ということで、各家庭ともに様々な理由で当日申し込みが必要な状況がたくさんある、ということがわかりました。せっかくの取り組みですので今後活かせるように教育委員会に相談してみます。ちなみに今回実施した8中学校の中で本校の利用率が最高でした。

### ⑨尼崎市地域防災訓練、武庫地区会場

「1. 17は忘れない」ひょうご防災の日を実施された、尼崎市地域防災訓練の武庫地区会場になり、普段の生徒だけの避難訓練とは違い、地域の方々にも多数参加していただき、校地内に埋設された緊急用貯水槽から飲料水の給水訓練や消防隊員による傷病者の「トリアージ」による選別の訓練など、学校だけではできない貴重な体験ができました。

### ⑩マラソン大会復活

常陽中学校創立以来実施されてきた「マラソン大会」が、諸般の事情でここ数年実施されていみせんでしたが、昨年度から「体力アップスクール」として授業で取り組んできたことの集大成として恒例のマラソン大会を復活させます。

とりあえず今年は、学年ごとの取り組みでスタートしますが、次年度からは、学校行事の『マラソン大会』として復活します、寒い時期ですが保護者の方で時間の都合がございましたら武庫川河川敷へお越しいただき、子どもたちの頑張る姿を見て応援していただければ生徒たちの励みになります。

## いよいよ新しい学年を迎えます

先日の朝礼でも伝えました。新2・3年生になるということについて、改めて中学生としての自覚と責任を持って行動すること、一人一人が、常陽中学校の名前を背負って行動しているということを意識してほしいのです。

現在の皆さんの学習態度、部活動への取り組み、学校行事への取り組み、生徒会活動への取り組みなどは、保護者の方々や地域の皆さん方から事あるごとにほめていただいています。

このことを自信に変え誇りを持って中学校生活を過ごしてください。保護者の方々の深い愛情だけでなく、地域の方々から暖かく見守られ支えられている、といったことを実感するとともに感謝の気持ちを忘れずに。新入生の手本となり常陽中学校の良き伝統をつないでいってください。

## 朝礼で出した問題の解答

さて、先週の朝礼で春分の日のお話からお彼岸の話をして、お供えの「ぼた餅」と「おはぎ」の違いについて各自で調べるように言いましたが、わかりましたか？



正解は、春は「牡丹の花」をイメージして「牡丹餅」と言い秋には「萩の花」をイメージして「お萩」と言うことから同じあんこに包まれていても、季節によって呼び名が変わることです。最近では高級感かおしゃれかわかりませんが、年間を通して「おはぎ」といわれることが多くなっているようです。

季節感を大切に日本人の心遣いだと思います。こんなことから季節のことや昔からの風習などにも興味を持って、様々なことを体験し、感動・感激ができる心を育ててください。

### 【今月の言葉】

『 天才とは 』

生まれつきの天才なんていないし  
才能は、努力を積み重ねた結晶である  
地道な努力を毎日続けられる、天才になれる